

⑱ 木の実や枝の壁かざり

- 1 子どもたちに伝えたいこと
 - ・自分の家の周りや公園には、さまざまな葉や実をつける植物があることを知る。
 - ・工夫することによって、いろいろな工作物ができることを知る。
- 2 実施時期：9月～1月
- 3 実施場所：教室、野外（公園、校庭、雑木林）
- 4 対象学年：全学年
- 5 関連教科：生活科、図工、総合
- 6 時数：2時限
- 7 事前準備
 - ・木の実・小枝・葉の用意
 - ・板目紙（はがきからB5サイズ）に紐を通す穴をパンチで開ける



<材料>

- 8 当日
 - (1) 準備する材料や道具
学校：木の実・小枝・葉、穴をあけた板目紙、紐、はさみ
どんぐりクラブ：木の実・小枝・葉（補充用）、剪定はさみ、木工ボンド、グルーガン
 - (2) 授業の流れ
 - ① あいさつ
 - ② 使う自然物の話
 - ③ はじめに全体の構成を考えて板目紙の上においてみる。
 - ④ 木工ボンドでつける。
 - ⑤ 大きいものや不安定なものはグルーガンでつける。
 - ⑥ 紐を付けて完成
 - ⑦ 発表
 - ・作品を見せ合ったり、自分で工夫したところなどを発表する。
 - ⑧ 終わりのあいさつ



<作品-1>



<作品-2>